

令和4年度【英語】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1年生	<p>①口語でのコミュニケーションに意欲的であり、90%以上の生徒ができるが、書くことに関しては苦手意識をもつ生徒が多い。</p> <p>②教科書本文を感情を込めて表現を工夫しながら暗唱発表する力は徐々に上がってきているが、音節やイントネーションに留意して英語を読む力が弱い。</p> <p>③基本的な文法ルールが身につけていない生徒がいる。</p>	<p>①定期的にスペリングコンテストや基本文テストを行い、単語を正しく書く意識を高めさせて、英語を書くことへの抵抗をなくさせる。既習事項を用いて自己表現させる機会を増やし、興味関心を高めていく。</p> <p>②デジタル教科書を使って、授業内や家庭で音読練習を十分させる。引き続き、暗唱発表を行い発音に留意させていく。</p> <p>③授業での口頭練習の機会を増やし、ICT教材を用いて興味をもって楽しみながら身につくよう工夫していく。書く作業をとおして基礎力を養う。</p>	<p>年度末に記入</p>
2年生	<p>①英語を聞き、絵や写真等を手がかりに意味を理解し、内容に関する質問に英語で答えることができない。場面に応じて、適切な英文で答えることに課題がある。</p> <p>② 単文での応答はできるが、その後、1文ないし複数の英文を継続することが苦手な生徒が多い。</p> <p>③英語を読む力が弱い。まとまった分量の英語を読んで、単語を頼りに意味を理解しようとする力が身につけていない生徒が多い。</p> <p>④語句の綴りを見て、意味を認識したり、既習の語句を活用して、自己表現したりする力が十分ではない。</p>	<p>①明瞭な英語による口頭導入をとおして概要をつかませる。文法の導入では、教師の説明を少なくし、発話練習をとおして意味内容や形式を類推させるようにする。</p> <p>②会話継続のためのコミュニケーション活動を帯で実施し、応答、発話能力を高める。また、1文付け加える、3語以上で答えるなどのルールを設定して会話を促進させる。</p> <p>③各自タブレットPCにあるデジタル教科書を使って、新出語を中心に練習を授業や家庭で十分に行うようにさせる。読み物教材を使い、繰り返し長めの読みものに触れる機会を作り、語彙が不足しないかを確認する。</p> <p>④Unit 毎に授業内で小テスト(スペリング・コンテスト)を行い綴りや語彙の強化を図って、習熟させる。また、ワークシートを使用して、キーセンテンスに慣れさせる。さらに、英語で日記を付けたり、メモを取ったり、スピーチ原稿を書いたりする活動を行い、ライティングにつなげる指導の工夫を行いたい。</p>	<p>年度末に記入</p>

<p style="text-align: center;">3 年 生</p>	<p>①英語での質問に即興で答える力は身につけてきているが、ある程度の分量で答えたり、会話をつなげたりするには課題がある。</p> <p>②書くことに関しては苦手意識をもつ生徒が多い。特にまとまった流れのある英文を書く力をつけていく必要がある。</p> <p>③まとまった分量のある英文を読んでいくことに苦手意識をもつ生徒が多い。</p>	<p>①授業はじめに即興でQA活動を続けていくとともに、流れのあるチャット形式での会話練習を取り入れていく。基本構文を口頭練習することによって表現力の引き出しを増やしていく。</p> <p>②スプリングコンテストや基本文テストをとおして書く基礎力を身につけさせるとともに抵抗感をなくしていく。スピーチ作成や英作文練習によってまとまった英文を書く機会を増やし慣れさせていく。</p> <p>③教科書本文の読解ではタスクを意識しながら読ませ、ポイントを確認し、読解力を高められるよう丁寧に指導していく。教科書ゴールの本文や演習問題等の読解では、時間を意識させ、まとまった英文を一気に読むなどして、量に慣れさせていく。</p>	<p style="text-align: center;">年度末に記入</p>
--	---	--	---